

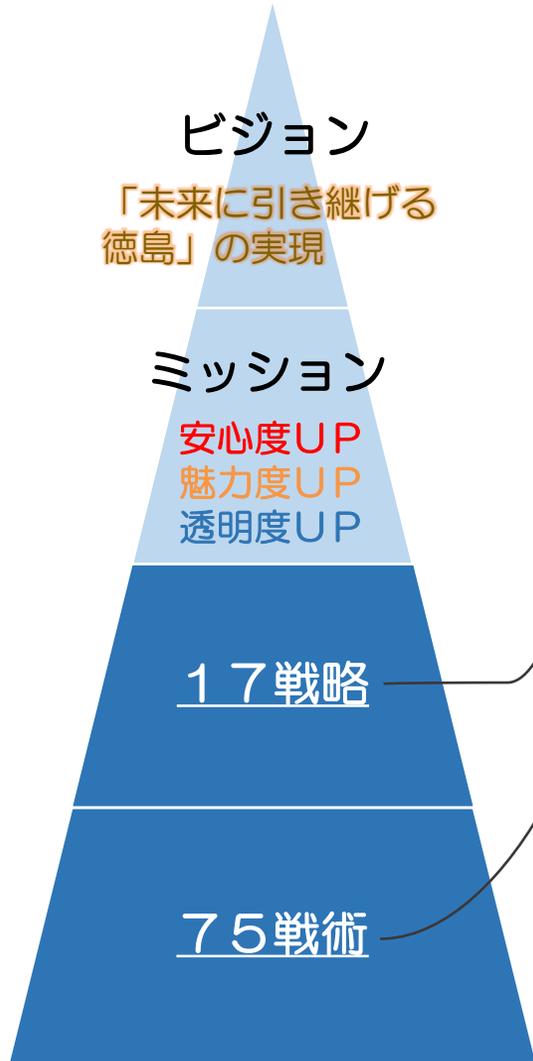
## 1 概要

社会情勢の変化等に即応するとともに、総合計画審議会での評価や議会での論議等を踏まえ、各部局において計画の改善見直しを実施。

## 2 見直し案（1月時点）

|           |                |  |
|-----------|----------------|--|
| 課題と現状分析   | 6項目<br>／74項目   |  【修正】徳島阿波おどり空港における国際定期便の就航状況<br> 【修正】近年の労働者ニーズの傾向（働きやすさや福利厚生制度等） など  |
| KPI       | 2項目<br>／93項目   |  【修正】「こどもの居場所」箇所数(2028目標値) 180箇所 → 240箇所<br> 【修正】ジビエ加工施設での処理頭数(2028目標値) 2,200頭 → 2,500頭  |
| 施策の方向性    | 31項目<br>／314項目 |  【追加】「米の安定供給」に係る高温耐性品種やスマート技術の導入<br> 【修正】地域公共交通に係るDXの推進、公共ライドシェア等の活用<br> 【修正】県庁における新たなコミュニケーションプラットフォームの導入 など |
| 具体的な取組・工程 | 24項目<br>／310項目 |  【追加】学びの多様化学校の設置<br> 【追加】職域におけるがん検診の受診促進の強化<br> 【追加】合同庁舎の整備 など  |
| 計         | 63項目<br>／791項目 |  |

## 3 計画の構成



**戦略 1 徳島新未来創生に向けた教育再生**

**目指すべき将来の姿**

- 特色・魅力ある学校で、主体性・多様性・国際性を育み、個性と可能性を最大限に伸ばす教育が提供され、自らの進みたい未来に向けて果敢に挑戦する児童生徒が育まれています。
- 教員の働き方改革が積極的に進められ、児童生徒と向き合う時間が十分確保されるとともに、いじめで悩むことのない、児童生徒の状況に応じた、質の高い「学びの場」が提供されています。
- 社会全体で学びを支える環境の中で、幅広い視野を身につけた多くの若者が、「ふるさと徳島」への愛着と誇りを抱きながら、持続可能な社会の創り手として活躍しています。

**課題と現状分析**

**資料 2 課題と現状分析**

- 主体的に、主体性・多様性・国際性を育む教育の推進が求められています。
- いじめの防止、いじめ被害者・加害者への支援、県立学校施設の機能の維持・強化など、全ての児童生徒の学びの場を確保し、質の高い「学びの場」を提供する必要があります。
- 地域振興の一翼を担う人材の育成、働き方改革の推進など、多様な課題に対応する必要があります。
- 地域コミュニティの教育機能の充実・強化や、地域の担い手育成を図るとともに、「地域ならではの」教育活動を推進するため、地域・家庭・学校が連携し、協働する教育の推進が求められています。
- 徳島が誇るあわ文化に触れる機会の充実や魅力発信、夢と希望を与えるトップアスリートの育成に向けた環境整備など、「徳島ならではの」文化・スポーツが躍動する教育の推進が求められています。

**KPI (重要業績評価指標)**

**資料 3・4 KPI**

**生徒主体の校則見直し**  
(出典：徳島県教育委員会)

**2028年度目標**  
公立学校100%

**指標の説明**  
県立学校における生徒が主体となった校則見直しを行った割合  
2023年度、全県立学校において生徒主体の校則の見直しを行ったため、この指標を選定

**期待される成果**  
県立学校において生徒主体の校則の見直しを行うこと目指し、目標値を設定し、この目標達成により、自ら考え判断し、行動する「主権者教育の実践」に寄与

### 施策の方向性と実現に向けた工程表

- ① 主体性・多様性・国際性を育む教育の推進**
- 児童生徒が多様性を尊重し、自分たちの権利を学び、主体的にルールを決め、責任をもって行動できる力を育むなど、人権教育の推進・充実を図ります。
  - 海外留学・姉妹校交流への支援や外国語教育に係る指導体制の充実を通して、児童生徒の語学力、特に発信力を強化し、グローバルな視野で活躍する人材を育成します。
  - 生徒主体の学びを、地元・県内外の産官学とのネットワークの強化により深化させ、未来の創り手を育成するとともに、より学校・地域の更なる魅力度UPを図ります。
  - 模擬投票や模擬選挙の推進など、学びや教員研修の充実を通して、生徒が地域の諸課題について主体的に考え、判断し、行動する能力を育成するとともに、主権者教育を推進します。
  - 幼児期からの各学校段階に合わせた主体的な取組を通して多様な主体と連携し、エシカルクラブ\*の取組を進めます。
  - 専門高校を拠点として、地元企業や高等機関等との更なる連携強化を行い、先端技術を効果的に活用した産業教育の充実を推進します。
  - 新しい時代に必要となる資質・能力を総合的に育成するため、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図り、確かな学力の向上を推進します。
  - 児童生徒が主体的に適切な行動を学ぶ、「ポジティブ行動支援\*」の全県での強化を図り、問題行動の未然防止やいじめ等の予防に努めます。

**資料 5 施策の方向性**

| 具体的な取組          | 2024       | 2025 | 2026                 | 2027             | 2028 |
|-----------------|------------|------|----------------------|------------------|------|
| 生徒による主体的な校則の見直し | 中学校への取組拡大  |      | 毎年1回以上見直し            |                  |      |
| 主権者教育の推進        | 学力調査の分析・検証 |      |                      | 授業改善の推進          |      |
| 消費者教育の推進        | 産官学との連携強化と |      | 校舎等の施設関係と産業のブラッシュアップ |                  |      |
| 産業教育の充実         | 消費者教育の充実   |      |                      | 消費者教育のブラッシュアップ   |      |
| 確かな学力の向上の推進     | 異校種間連携開始   |      |                      | 横展開              |      |
| 「ポジティブ行動支援」の強化  | 学力調査の分析・検証 |      |                      | 横展開              |      |
|                 | 実践型研修の実施   |      |                      | 実践型研修の拡大と好事例の横展開 |      |

**資料 5 具体的な取組・工程**

## 4 主な見直し項目（1月時点）

### （1）施策の方向性

#### 戦略11 攻めの農林水産業

##### 追加

「米の安定供給」に向け、気候変動に対応する高温耐性品種の導入やスマート技術の活用など、ソフト・ハード両面から「生産性の向上」に資する総合的な対策に取り組めます。

<追加理由>

国が進める「需要に応じた米の生産」は、食料安全保障の強化や農家の所得向上など、持続可能な農業の実現につながるため。

#### 戦略14 国内外から選ばれる魅力的な地域づくり

##### 修正

地域公共交通の維持・存続を図るため、関係者の役割分担と連携により、モダルミックスやDXの推進、公共ライドシェア等の活用により、公共交通の最適化や利便性向上に取り組むとともに、DMVの活用をはじめ、地域特性に応じた公共交通の利用促進策を展開します。

<修正理由>

地域公共交通の維持・存続に向け、公共ライドシェアやタクシー配車アプリ導入支援など、情勢を踏まえた取組を推進していくため。

#### 戦略16 時代のニーズに対応する県政運営体制

##### 修正

現場や家庭など場所を選ばず、職員が県のシステムを利用できるようにするとともに、円滑な情報共有が可能で、生成AIなど最新技術に対応した、新たなコミュニケーションプラットフォームを導入することで、多様な働き方を可能とし、創造的な施策を生み出すことのできる環境を整えます。

<修正理由>

庁内の情報共有のあり方やツールの見直しにより、コミュニケーションの活性化や生産性の向上を図るため、令和7年度に新たなコミュニケーションプラットフォームを導入し、職員の働き方改革を一層推進することとしたため。

## 4 主な見直し項目（1月時点）

### （2）具体的な取組・工程

#### 戦略1 徳島新未来創生に向けた教育再生

##### 追加

○学びの多様化学校の設置  
設計・施工、開校・運営

<追加理由>

不登校生徒の個々のニーズに応じた多様な支援を図るため。

#### 戦略5 健康づくりの推進と医療・介護・福祉の充実

##### 追加

○がん検診の受診率の向上  
職域における受診促進の強化

<追加理由>

がん検診の受診率向上に向け、従業員が、がん検診を受けやすい環境整備に取り組んでいくため。

#### 戦略17 持続可能な財政運営の推進

##### 追加

○合同庁舎の整備  
調査・検討・推進

<追加理由>

老朽化が進んでいる県の合同庁舎について、建替を含めた整備の検討を進める必要があるため。

## 5 今後のスケジュール（予定）

1月21日 第2回総合計画審議会

2月上～中旬 パブリックコメント

3月11日 （県議会の審議・議決を経て）計画改定